

運動「用具を使った運動」

【ねらい】

- 用具を操作する運動を楽しむ。
- 用具を安全に操作して運動する。
- 用具を操作する動きを高める。

【学習の流れ】

1 学習の流れ、めあてを確認する。

2 ポイントを知る。

- とにかくやってみる。
- 何度も挑戦する。
- 道具の使い方、ルールを守る。

3 ゲームをする。

- いろいろホームラン ・ 風船バドミントン ・ 箱サッカーPK ・ 動いてストップ ・ だるまさんがころんだ
- バレーボールアタック ・ 風船バレー ・ ヌンチャクの当て ・ 袋ジャンプ ・ ころころジャンプ
- フラフープなわとび ・ 玉入れゲーム

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、実態に応じて内容を変更して行うこともあります。

4 振り返る。

- 活動の感想や学んだこと、クラスでの活かし方を考える。

担任の先生・保護者の皆様へ

いよいよ暑さが厳しい時期になり、一学期も終わりに近づいてきました。

今週の小集団活動では「用具を使った運動」を行いました。私たちは日常の中で様々な物を操作して生活していますが、それは子供にとって簡単なことではありません。用具を使った運動では、楽しく安全に用具を操作することで意欲が沸くような指導を心掛けました。今回は「とにかくやってみる」「何度も挑戦する」ことをポイントとしました。普段はなかなか使わない用具にも触れて、それらを使う運動をすることで自然な教え合いが生まれる等、友達と関わる場面も見られました。

今回の活動で用具を使った運動の楽しさや、挑戦することの大切さに気づき、今後様々な運動に前向きに取り組んでいくためのきっかけとなるといいです。